



サポートセンター通信

NO.38

発行日：平成24年3月9日 第38号

発行元：松本市市民活動サポートセンター

〒390-0874 松本市大手3-8-13

松本市役所大手事務所2階

TEL/FAX：0263-88-2988

E-mail：support-center@support-center.jp

URL：http://www.support-center.jp

サポートセンター春の事業

プラチナサロン “とまり木”

これから活動を始めの方へ・・・

ボランティアなどの活動。興味があるけれどイメージが踏み出せない。そんなあなた。

さまざまな市民活動を実践している人達との交流を通して、“自分にできること”探してみませんか？

日時：平成24年3月14日(水)正午～午後4時

会場：あがたの森文化会館 2-8教室

サポートセンターが会場ではありませんのでご注意ください

参加費：無料

参加申込：不要



～イベント内容～

市民活動団体ブース展示

正午～午後1時

市民活動団体の日頃の活動をブース展示します。団体スタッフの説明も！

講演 午後1時～午後2時半

「定年後の新たな地域レビュー～生活支援ネットスキップの場合～」

講師：下井 明雄氏 (NPO法人生活支援ネットスキップ代表理事)

会社を退職後“便利屋NPO”を立ち上げた経験を元にしたお話

サロン 午後2時半～午後4時

市民活動団体の実践者を交えて分野別の気軽な話し合い



とまり木×パレア松本コラボ企画

起業講座 夢をかたちに！

「おさんぼカフェ」小林淳一さんによる、起業までの道のりや心得などに関する講演会。

日時：3月12日(月) 10:00～12:00

主催・会場：パレア松本女性センター (定員30人。託児有)

申込みは3月8日(木)から、電話・FAX・E-mailにて受け付けています。

詳細は パレア松本女性センター までお問い合わせ下さい。

TEL：0263-39-1105 E-mail：kyousei@city.matsumoto.nagano.jp



ふれあいサロン～春～

松本市市民活動サポートセンターでは、「ふれあいサロン」(障害者就労支援施設交流販売会)を年4回開催しています。

各施設の人とふれあい、それぞれの活動を知る絶好の機会です。お気軽にご参加ください。

日時：平成24年3月15日(木)

10:30～13:00 ...販売交流会

13:00～14:00 ...交流会

場所：松本市市民活動サポートセンター

主催：ふれあいマーケット事務局

サポートセンターの会議室及びフリースペース中央を、交流・休憩・食事のスペースとして開放します。

昼食は各自お持ちいただくか、ふれあいサロン販売内でご購入ください。

問合せ：ふれあいマーケット事務局

(NPO法人てくてく 桑原美由紀)

TEL/FAX：0263-34-0611

E-mail：spnn2299@gamma.ocn.ne.jp

又は市民活動サポートセンターまで



プラチナ世代支援セミナー

9月に好評をいただいたセミナーの第2弾として、認知症を正しく理解し、認知症の人とそのご家族を地域で支えていくための講座を開催します。

・認知症について正しく理解しよう

・家族の苦悩を理解し、専門の知識を学ぼう

・認知症の人に優しい「まちづくり」とは

・サポーターとして地域の中でできること

講師：関 靖氏 (公益社団法人 認知症の人と家族の会長野支部 代表)

日時：3月22日(木) 10:00～12:00

場所：松本市市民活動サポートセンター

対象：認知症を理解し、支える気持ちのある方

定員：50人(先着順)

事前に市民活動サポートセンターまでお申し込み下さい。

参加費：500円

今回受講された方には、認知症サポーターの証としてサポーターオレンジリングが配られます！



NALC 信州まつもとだいら支部

Tel : 0263-39-5769 Fax : 0263-39-5769

この一年、国内だけでなく世界中至る場所に生きる人々が、家族・仲間・郷土・地域の繋がりについて考え、またその内の少なくない数が、被災地復興支援にも何らかのかたちで参加したことだろう。そして、日本にはこんな諺がある。「情けは人の為ならず」。曲解されやすい言葉だが、「誰にでも分け隔てなく親切にしていれば、まわりまわって自分に(良いことが)返ってくるものだ」という意味であり、今回ご紹介するNALCは、このような理念の基に活動する団体だ。お話を伺った代表の守安さんは、まさにそれです、と語る。

既に超高齢化社会になりつつある現在、自治体や公共サービスではカバーしきれない部分を「相互扶助」でフォローしあっている。大阪本部の会長が講演に訪れた際の呼びかけで松本に支部を作ったのは平成16年。4、5人でのスタートだったが、今や会員は130人ほどにのぼる。ポイント制になっており、送迎・雪かき・草むしりなどの作業を引き受けることで積み立てをしてゆき、やがて自分が高齢になったときには、貯めておいた点数を使って支援をお願いする、というシステムだ。では、これまで参加していなかったお年寄りからの依頼は受けられないのか、ということそうでは



なく、困っている方がいればお手伝いをして“気持ち程度の寄附”をいただき、それらは事務所の運営費に充てている。

また、心の健康を維持するためのさまざまなイベントも企画。ウォーキング・マレットゴルフ・料理教室など、皆で和気藹々と取り組むことで親交も深まるし、気持ちが明るくなれば身体の英気も養われる、という。

さらに、中国残留帰国者の方々が生育環境とは異なる文化の中で自信を持って暮らしていけるよう、日本語教室や、ボーリングなどのレクリエーションを通して、地域や習慣に馴染んでもらうためのサポートをしている。

いまの世の中、優しくされると逆に「何か裏があるのでは」と不安や不信を抱かれてしまいがちなので、このようなNPO法人があることをたくさんの方に知っていただき、輪を広げてゆきたい、と話す。「自分の出来ることを出来る方法で、楽しみながら『させてもらう』ボランティア」という言葉が印象に残った。(いまふく)



第27回 松本市公民館研究集会

2月19日(日) 中央公民館(Mウィング)

毎年開催されている公民館研究集会は、市内35地区の公民館関係者や地域づくりに携わる市民ら約350人が参加し、今後の公民館の役割と地域の連携のあり方を考えた。午前中、「東日本大震災と社会教育」をテーマに基調講演を行った東北大学大学院の石井山竜平准教授は、被災地の方々が「日常」を喪失し、コミュニティを再構築しなければいけない今、社会教育が、外に向けて能動的な構えで向き合うことを期待すると語った。



活発に意見交換する
第8分科会

午後は9つの分科会が行われ、第8分科会では、「NPO・ボランティア団体等と地域の連携 地域と地域にとらわれない団体の連携」と題し、地域で活動している3団体の発表があった。

松本消費者の会波田地区の代表、織田ふじ子さんは、消費者問題の解決のため、必要な事業を企画、立案し、行政、企業、団体に提案する活動をしている。具体例は、「不用食器リサイクル活動」。使用しなくなったり、壊れた食器を回収し、岐阜県の工場で再生、再利用の循環のしくみを作り上げた。織田さんは、「行政と企業と市民団体の連携で、県域を超えた事業に発展した。」と成果を語った。

NPO 法人えんどっこの代表、大月健二さんは、水辺観察や水質調査を行い、子供たちに自然のすばらしさを伝えている。本年度は、助成金でボートを購入でき、大規模な活動に発展している。

波田日本語教室の代表、竹村一男さんは、外国籍の方々に日本語を教えている。お互いを理解することで、信頼関係が生まれ、言語能力の向上に繋がっていると言う。

参加者から「活動を続けられる理由」を質問されると、皆さん「自分が楽しむこと」「やりがい」「熱意」と力強く答えていた。

助言者として出席した当サポートセンターの松田補佐は、参加者の方々に、「多くの団体を知り連携を持つことで、ネットワークとして発展させていってほしい」と呼びかけた。(かない)



ボランティア活動保険のご案内

全国で170万人が加入!

保険料は280円～ わずかコーヒー1杯分で、1年間の活動をサポートします!

<p>保険内容</p>	<p>ボランティア活動中、または活動の行き帰りの途中に起きた事故によるご自身のケガや賠償責任（他者にケガをさせてしまったり、物を壊してしまったりなど）を補償します。 ただし、自動車による事故はボランティア自身のケガのみが補償の対象となります。</p>
<p>保険料(年間)</p>	<p><u>基本タイプ</u>（一般的なボランティア活動）1名 A：280円 B：420円 <u>天災タイプ</u>（災害ボランティア活動など）1名 A：490円 B：720円</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>補償内容（Aプラン例） AタイプとBタイプでは補償内容が異なります <死亡>1400万円 <通院>4100円/日 <後遺障害>1400万円(限度額) <入院>7000円/日 <賠償責任(対人・対物共通)>5億円(限度額)</p> </div> <p>天災タイプでは基本タイプによる補償に加え、天災（地震・噴火・津波）による怪我也補償します。ただし、台風などの風水害によるケガは基本タイプで補償されます。</p>
<p>補償期間</p>	<p>平成24年4月1日 午前0時～ → 平成25年3月31日の 途中加入の場合：<u>加入手続き完了日の翌日</u>午前0時～ → 午後12時まで補償</p>
<p>対象活動</p>	<p>日本国内における「自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」で、次の～のいずれかに該当する活動とします。 グループの会則に則り企画・立案された活動であること（社会福祉協議会に登録されていること） 社会福祉協議会に届け出た活動であること 社会福祉協議会に委嘱された活動であること 対象とならない例 ・自発的な意思による活動で無いもの（学校管理下での活動など） ・有償ボランティア(時給や日給) 交通費など活動のための支給は無償とみなします。</p>
<p>保険金をお支払する主な例</p>	<p>(1) ケガの補償</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>清掃ボランティア中、転んで通院した</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>活動に向かう途中、交通事故に遭って亡くなられた</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>活動中に食べた弁当で食中毒になって入院した</p> </div> </div> <p>(2) 賠償責任の補償</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>入浴ボランティア中、誤ってお年寄りに怪我をさせた</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>家事援助ボランティア中、誤って花瓶を壊した</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人に怪我をさせた</p> </div> </div>
<p>加入受付</p>	<p>【受付・お問合わせ】 <u>松本市社会福祉協議会 (0263-25-7311)</u> その他、社協の各地区センター・松本市市民活動サポートセンター（松本市役所大手事務所2階）でもご加入の手続きができます。</p>



Books of NPO

皆さんにぜひ読んでいただきたいNPOに関する本のレビュー第2弾。本書も前回と同様に、サポートセンターでご覧になれます。

『寝ても覚めても市民活動論 ミーティングや講座の帰り道に読む35の視点』
 （早瀬昇.2010.大阪ボランティア協会発行）

～ふと感じたボランティアへの疑問を解決してくれる処方箋～

本書は、大阪ボランティア協会の情報誌「ウォロ(Volo)」内で紹介された35のコラムを5つのカテゴリに分けて再編集されたものです。取り上げられているエピソードは実に多様で、誰もがボランティアをする中で一度は感じる疑問や悩みについて、大阪出身の著者が時には真面目に、時には笑いを交えた“処方箋”を提供してくれます。身近な内容なだけに「たしかに」「なるほど」と頷きながらすらすら読むことができます。コラムを拾い読みするだけでも充分楽しめる本書は市民活動やボランティアの良さを再発見できる一冊です。



イベント情報をお寄せください。

サポートセンター通信やホームページで、皆さんのイベント情報や募集情報などをご紹介します。



～大人に効く、思春期の 子どものための4つのサブリ～

家庭や地域のなかで青少年の声に耳を傾け、向き合うことのできる大人の存在が重要になっています。思春期の子どもよき理解者となり、適切に対応できる大人となるための講座に参加しませんか？

- 3月14日(水) 矢崎 久氏 (松本大学准教授)
- 3月16日(金) 滝澤 利江氏 (シニア産業カウンセラー)
- 3月22日(木) 後藤 裕子氏 (まちかど保健室)
- 3月24日(土) 柏原 吉野氏 (産業カウンセラー)

各回とも時間は10:00～12:00

会場：あがたの森文化会館

できるだけ公共交通機関をご利用ください。

定員：各回30人

受講料：無料

問合せ・申込み：松本市 こども部 こども育成課

TEL:0263-34-3000 (内線 2212)

楽器を寄贈してください

家庭に眠っている楽器で、カンボジアの子供たちの音楽教育を支援しませんか？

集めています！！

- ・鍵盤ハーモニカ (メロディオン・ピアノカ)
 - ・リコーダー、アルトリコーダーなどの電気を使わない楽器 (年式、型番、メーカーは問いません)
- 汚れはできるだけ落としてお持ち下さい。
ホース等がなくても本体だけでもOK。
3月末日までは、サポートセンターでも

お預かりします。

3月29日(木)13:00～ サポートセンターにて、活動紹介のビデオ上映・写真展示及び「楽器の清掃、箱詰めボランティア」体験講座も開催します。

問合せ：フリマネット信州

TEL:090-9664-5510/FAX:0263-88-5012

E-mail: furimanet@yahoo.co.jp

使用済み切手も集めています

車椅子を寄付する活動に役立てるため、一枚でも結構ですのご協力をお願いします。



四方を5ミリほど残して
切り取ってください。

まつもと 子どもたちの映画祭

「大人もきっと好きになる子どもたちの世界映画祭」をテーマに、世界中から良質な映画を選んで上映します。さらに、ダンスや演奏などのライブパフォーマンスも登場。映画を観るだけでなくドキドキ、ワクワクするような感動を提供します。

上映日：3月24日(土)

< Aプログラム 幼児～ >

時間：11:30～13:00

作品：アマルカ～森番をやった日(チェコ).他4作品

< Bプログラム 幼・低学年～ >

時間：14:00～15:30

作品：チェブラーシカ(ロシア).他4作品

< Cプログラム 小学生～ >

時間：16:30～18:00

作品：こいぬのうんち(韓国).他4作品

*都合により上映作品が変更になる可能性があります。

会場：まつもと市民芸術館 小ホール

チケット：500円(大人・小人ともに)

*チケットは当日、まつもと市民芸術館でのみ販売です。

*3歳以下のお子様は無料ですが、座席が必要な場合はチケットを購入してください。

問合せ：

一般社団法人 松本映画祭プロジェクト

TEL:0263-35-2810 <http://smf-matsumoto.com>



野菜の配送ボランティアを募集

食糧支援プロジェクト@松本は、原発事故による放射能の影響から子供たちを守るため、松本のきれいな空気と水と土で育った野菜の配達を行っています。2週間に1回の配送のため、午前10時～2時間程度、野菜の箱詰め作業を手伝ってくれるボランティアを募集しています。詳細は事務局まで。

問合せ：食糧支援プロジェクト@松本(代表:竹内)

事務局 〒390-0305 松本市惣社 522-1-102

FAX:0263-75-6862

E-mail: tea.champagne@gmail.com

～新スタッフ紹介～

市民の皆様と近い関係になれるよう努力していきたいです。よろしくをお願いします。(中川)

1月からお世話になっている山崎です。まだわからないことが多いですが、多くの出会いを大切にして、皆さんのお役に立てるよう頑張ります。(山崎)

～編集後記～

東日本大震災から一年。この一年で、NPOやボランティアが被災地や地域で支援活動を行う姿を通して、こうした市民活動への認識・理解が一層進んできたように思います。この3月に、サポートセンターでは、春の新たな出発に向けて団体さんと市民の方の交流の場となる「プラチナサロンとまり木」を開催します。これを機に、みなさんの活動の輪が広がり、益々躍進できますようお手伝いできればと思います。(すみたに)